

石 教 研

一人の百歩より百人の一步

令和6年度

転入者研修会

石狩管内教育研究会



日 時 令和6年4月26日(金)午後2時30分～

会 場 石狩教育研修センター



ようこそ石狩へ!

令和6年度 転入者研修会 会次第

I 開会の言葉

II 石教研会長挨拶

III オリエンテーション

IV 説明

(1) 石教研のあゆみ・研究

(2) 「教育石狩」について

V 交流会

(1) 歓迎のことば 石狩教育研修センター 所長 東 祐史 様

(2) 石狩管内クイズ

(3) 話し合い

(4) 討議のまとめとスピーチ

VI 閉会の言葉

※アンケート記入、提出後解散

石教研の性格と役割

石狩管内全教職員が参加する唯一の研究団体

石教研は、全ての石狩管内教職員（約 2,300 人）によって組織されている、管内唯一の自主的な研究団体です。

現場実践と“協働”研究

会員一人一人の自主性と課題意識を基盤として、現場実践を通して研修・研究活動を行い、個々の教育的力量を高めています。

石教研の研究＝石狩の教育

管内の教育関係機関が連携し、管内全教職員で知恵を出し合い、「石狩の子どもたちのために、子どもたちをどう育てるか。」を研究する石教研は、石狩の教育そのものといえます。

基本目標 主体的・創造的で人間性豊かな子どもを育てる教育の確立

- ▶ 石狩の子どもたちのために教育に関する専門性を高めよう
- ▶ 日常実践を基盤とした自主的・共同的な研究をすすめよう
- ▶ 教育関係機関と連携し、より確かな研究体制を築こう

研究の信念

すべては 石狩の子どもたちのために

一人の百歩より、百人の一步

研究は三本柱を中心に

研究は、専門部会研究（専門領域の指導力向上）、課題部会研究（今日的教育課題の解明）、学校課題研究（校内研究成果の管内発信）の3本柱を中心にすすめます。

市町村の研究団体と連携を図りながら、全ての研究の成果を管内で一元化し、全ての学校へ広く環流しています。



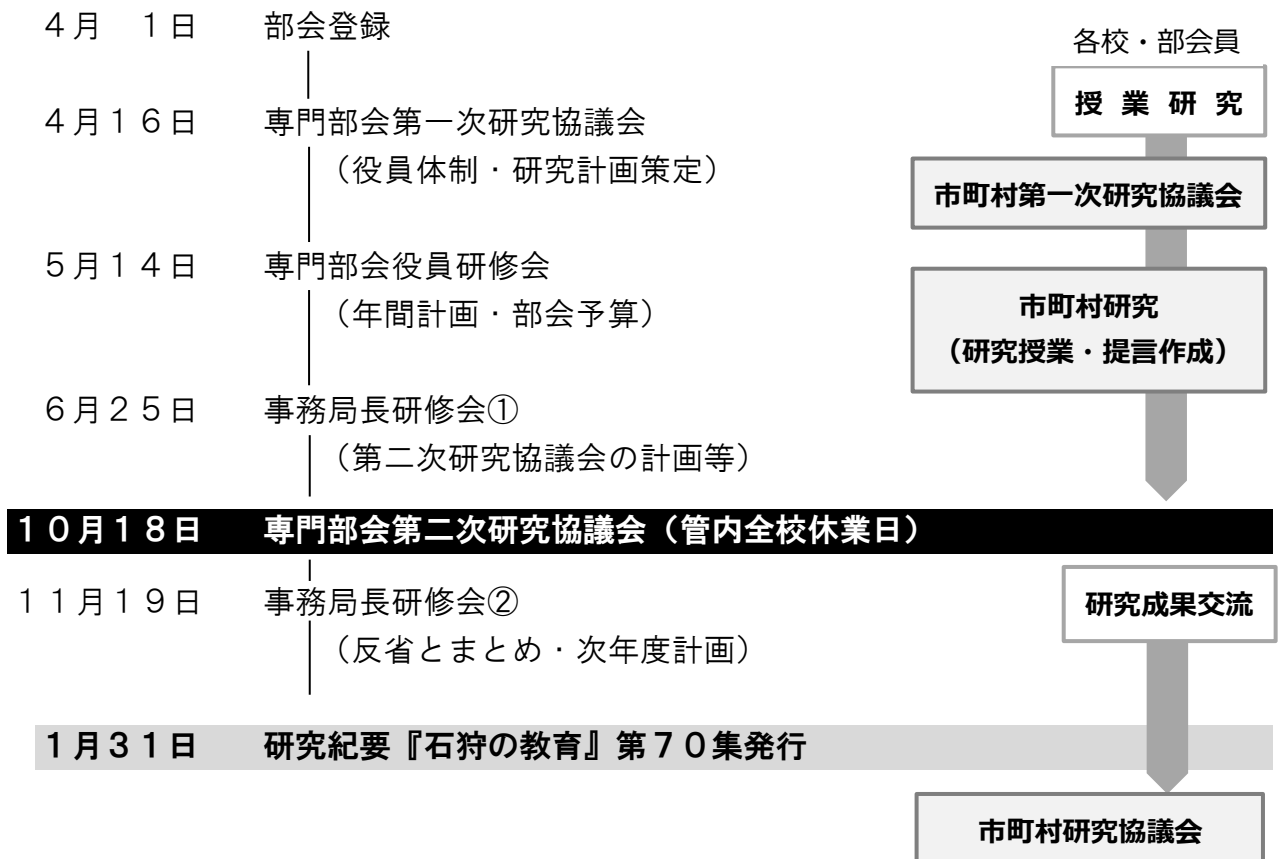
石教研活動の流れ

専門部会研究

取り組むべき視点を明確にした日常実践のさらなる充実

国語、算数（数学）など19の部会で現場実践を行い、10月18日に一日日程で管内研究会を開催します。研究会当日は、研究授業や各自が持ち寄った研究実践レポートに基づいて研究協議を行います。各市町村研究団体にも同様の部会があり、管内と市町村が強く連携して研究をすすめています。

2年継続研究の2年次



部会事務局（部長、副部長、事務局長、事務局次長、研究員、教育課程研究委員）を構成し、石教研事務局ならびに各市町村研究団体との連絡調整を図りながら主体的に活動します。

部会構成（19部会）

- | | | | | |
|---------|----------|----------|--------|-----|
| ①国語（小） | ②国語（中） | ③社会（小） | ④社会（中） | ⑤算数 |
| ⑥数学 | ⑦理科（小） | ⑧理科（中） | ⑨生活科 | ⑩音楽 |
| ⑪図工・美術 | ⑫保健体育（小） | ⑬保健体育（中） | ⑭技術・家庭 | ⑮英語 |
| ⑯障がい児教育 | ⑰養護教諭 | ⑱栄養教諭 | ⑲事務職員 | |

主な事業

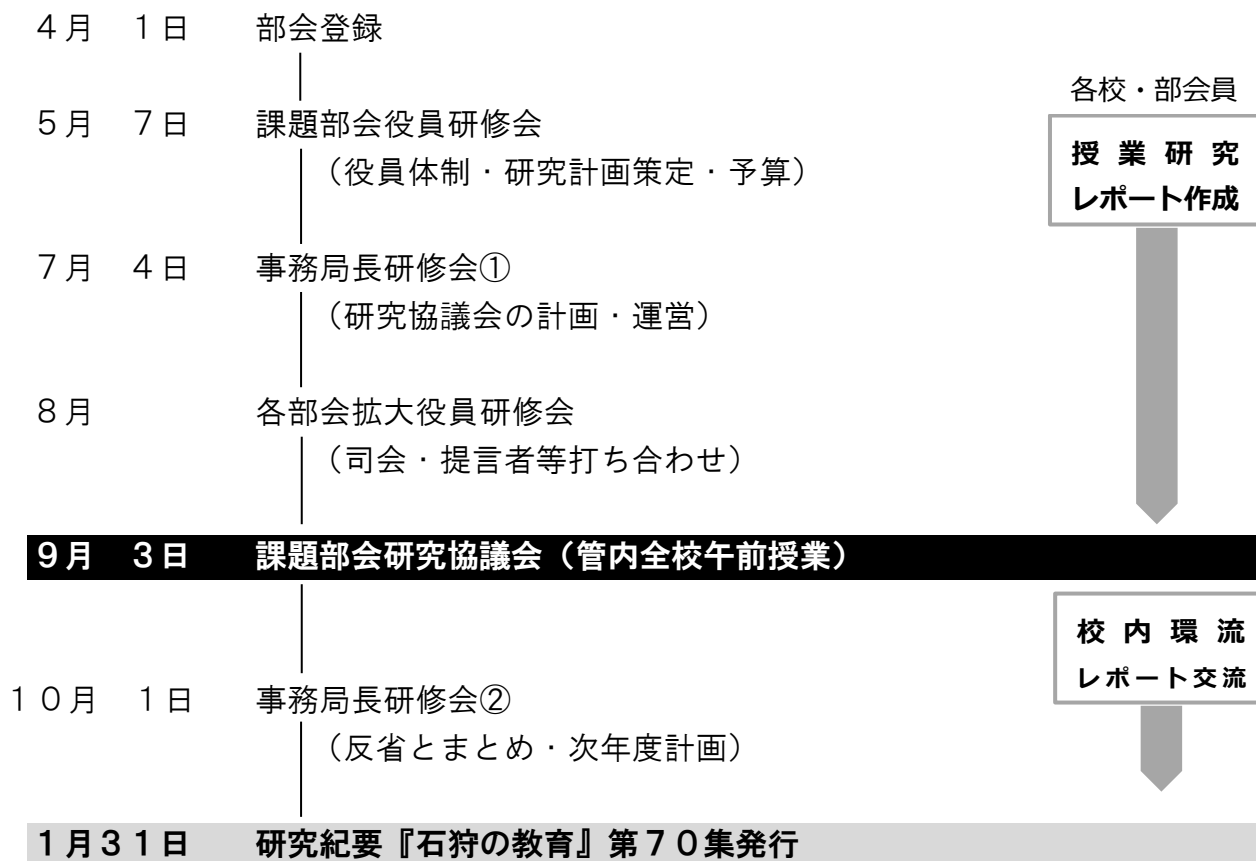
- | | | |
|----------------|-------------|----------------|
| 研究協議会の開催 | 実技・理論研修会の開催 | 教育課程の研究 |
| 実践資料集、指導資料集の作成 | | 研究紀要『石狩の教育』の作成 |

課題部会研究

多岐にわたる今日的な教育課題の解明

集団づくり、道徳教育、特別支援教育など、13の部会で現場実践を行い、9月3日に午後半日日程で管内研究会を開催します。研究会当日は、部会員の実践をレポートとして持ち寄り、教育課題解明に向けて研究協議を行います。

単年度研究



部会事務局（部長、副部長、事務局長、事務局次長、事務局員、研究員、協力員）を構成し、石教研事務局ならびに各学校研究責任者との連絡調整を図りながら主体的に活動します。

部会構成（13部会）

- | | | | | |
|---------|-------|-----------|-------|--------|
| ①集団づくり | ②生き方 | ③道徳 | ④教育課程 | ⑤情報教育 |
| ⑥国際理解教育 | ⑦環境教育 | ⑧人権・平和 | ⑨文化活動 | ⑩安全・健康 |
| ⑪特別支援教育 | ⑫生徒指導 | ⑬へき地・複式教育 | | |

主な事業

- | | | |
|----------|-------------|----------------|
| 研究協議会の開催 | 実技・理論研修会の開催 | 研究紀要『石狩の教育』の作成 |
|----------|-------------|----------------|

学校課題研究

主体的に学校課題を解明する校内研究の充実

管内教育の向上を目的とし、毎年、研究校が指定されます。指定校は自校の研究主題に基づき、3年間課題解明にあたります。3年目には研究発表会を開催し、研究過程やその成果について管内全学校からの参加者を通して発信し、交流を図ります。

令和6年度 研究発表校 1校（3年研究）

令和6年度発表校

■当別町立とうべつ学園 11月1日（金）

主体的に深く考える児童生徒の育成

～義務教育9年間を見通した授業の工夫～



（令和5年度発表校 恵庭市立若草小学校 江別市立中央中学校）

教育講演会

視野を広げ、教職員としての資質を高める

昨年度より隔年開催となったため、今年度は講演会を実施せず、次年度に向けて企画のみ行います。

令和5年度 実技・理論研修会一覧

実技・理論研修会関係

No	研修会名・講師名	教科・関連分野	開催予定日	会場	照会先
1	理論研修会① 「今年度の研究を踏まえた授業作り」 指導者：渡邊 和宏 氏（石狩市立南線小学校 教諭） 石井 保成 氏（恵庭市立島松小学校 教諭）	理科教育(小)	6月9日(金)	石狩教育研修センター	理科(小)部会事務局 0123-36-8967 石井 保成(島松小)
2	実技研修会 「授業で活用できる実験プラン・教材紹介」 講師：里 浩彰 氏（お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーションセンター特任講師）	理科教育(小)	7月4日(火)	恵庭市立柏小学校	理科(小)部会事務局 0123-32-3579 小田桐 清昭(柏小)
3	実技理論研修会 「わかる・できるサッカーの指導方法～低学年から高学年まで活用できるサッカーの指導方法～」 講師：吉田 順省 氏（エスポラーダ北海道 スクールダイレクター/OPD）	保健体育科教育(小)	7月7日(金)	北広島市総合体育館	保体(小)部会事務局 0123-32-3288 吉澤 泰輔(恵庭小)
4	理論研修会 「追及を通して、主体的に社会とかかわる力を育む社会科学習の創造」 講師：佐藤 正寿 氏（東北学院大学文学部教育科 教授）	社会科教育(小)	7月7日(金)	オンラインによる リモート研修	社会(小)部会事務局 011-382-2580 谷 昌治(江別太小)
5	実技理論研修会 「ときめき つながり ひびきあう心を～民族楽器の演奏と歴史～」 講師：長崎 亜希子 氏（特定非営利活動法人ノルドミュージック 理事）	音楽科教育	7月11日(火)	江別市立中央小学校	音楽部会事務局 011-384-3001 寺元 麻美(中央小)
6	実技研修会 「学校給食献立づくりに役立つ食材の活用」 講師：星澤 雅也 氏（(有)星澤フードサービス チーフマネージャー）	食に関する指導	7月13日(木)	星澤クッキングスタジオ	栄養教諭部会事務局 011-383-0015 倉田 幾代(江別第二小)
7	理論研修会 「図画・工作科、美術科における適切な学習評価の在り方」 指導者：工藤 雅人 氏（北広島市立大曲小学校 校長）	図工・美術科教育	7月20日(木)	石狩教育研修センター	図工・美術部会事務局 0123-34-0551 佐々木 清美(相陽中)
8	実技理論研修会 「思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業づくり」 講師：谷地元 直樹 氏（北海道教育大学旭川校 教授） 指導者：工藤 朋樹 氏（恵庭市立恵明中学校 教諭）	数学科教育	7月20日(木)	北広島市立西の里中学校	数学科部会事務局 011-375-2843 川口 渡(西の里中)
9	実技理論研修会 「『スバイダー討論』～対話活動の提案」 指導者：江刺家 真 氏（恵庭市立柏陽中学校 教諭）	国語科教育(中)	7月20日(木)	北広島市立東部中学校	国語(中)部会事務局 0123-40-0051 安孫子 瞬(勇舞中)
10	理論研修会 「4技能を総合的に用いる英語指導法」 講師：巽 徹 氏（岐阜大学 教授）	英語科教育	7月31日(月)	北広島市立西の里中学校	英語部会事務局 011-375-2843 坂本 育朗(西の里中)
11	理論研修会 「進路選択の現状と普通高校、単位制、通信制高校などへの進学後の実態」 講師：立花 悠 氏 河合 理恵 氏（市立札幌大通高等学校 特別支援コーディネーター）	特別支援教育	7月31日(月)	石狩教育研修センター	障がい児教育部会事務局 0123-74-2353 上坂 剛士(樽川中)
12	理論研修会 「生活科の学びを豊かにするためのICT活用」 講師：安井 政樹 氏（札幌国際大学全学共通教育情報教育部門 准教授）	生活科教育	8月1日(火)	石狩教育研修センター	生活科部会事務局 0123-36-7505 吉田 聡史(恵み野小)
13	理論研修会 「就労の現状とその実態」 講師：鳥居 敏光 氏 伊藤 智昭 氏 服部 聡 氏 工藤 竜太 氏 宮崎 通 氏（社会福祉法人北海道リハビリ）	特別支援教育	8月1日(火)	石狩教育研修センター	障がい児教育部会事務局 0123-74-2353 上坂 剛士(樽川中)
14	理論研修会 「質問づくり」 指導者：佐藤 泉英 氏（北広島市立東部中学校 教諭）	社会科教育(中)	8月1日(火)	北広島市立東部中学校	社会(中)部会事務局 0123-22-4151 小向 宗幸(北斗中)
15	フィールドワーク 「ピーチコーミング～自然からのお宝を探そう～」 講師：圓谷 昂史 氏（北海道博物館 学芸員）	理科教育(小)	8月1日(火)	石狩市 古潭海岸	理科(小)部会事務局 011-386-5361 本間 昌喜(大麻東小)
16	実技理論研修会 「応用分子昆虫学研究室の見学」 講師：浅野 真一郎 氏（北海道大学農学部 教授）	理科教育(中)	8月2日(水)	北海道大学大学院 工学研究院	理科(中)部会事務局 0123-33-3001 一関 藍子(恵明中)
17	理論研修会 「『ことば』をアセスメントする」 講師：小野寺 基史 氏（北海道教育大学大学院教育学研究科 教職大学院特任教授）	特別支援教育	8月7日(月)	石狩教育研修センター	障がい児教育部会事務局 0123-23-4107 森山 一樹(緑小)
18	実技理論研修会 「課題解決に自ら向かう子の育成～数学的な見方・考え方を働かせる学びを通して～」 講師：加国 希支男 氏（東京学芸大学附属小金井小学校 教諭）	算数科教育	8月17日(木)	北広島市立北の台小学校	算数部会事務局 0123-36-8967 山崎 敬乃(島松小)
19	理論研修会 「言葉による見方・考え方を身に付けるための国語科授業」 講師：青木 伸生 氏（筑波大学附属小学校 教諭）	国語科教育(小)	8月21日(月)	江別市立江別第二小学校	国語(小)部会事務局 0123-26-2170 岩崎 晋也(西当別小)
20	実技研修会 「子どもの未来を拓く保健室の整理収納～実践編～」 講師：今野 洋子 氏（北翔大学教育文化学部 教授）	学校保健	8月24日(木)	石狩教育研修センター	養護教諭部会事務局 011-386-0737 大場 裕里子(大麻泉小)
21	実技研修会 「コンテンポラリーダンスの理論と実践」 講師：みのわ そうへい(野邊 壮平) 氏 (んまつーボス/振付家 宮崎大学 産学・地域連携センター 客員研究員)	保健体育科教育(中)	8月28日(月)	北広島市立広葉中学校	保体(中)部会事務局 011-376-2252 齋藤 達也(西部中)
22	実技研修会 「救急処置～養護教諭としての対応のポイント～」 講師：岡田 忠雄 氏（北海道教育大学札幌校 教授）	学校保健	10月13日(金)	江別市立対雁小学校	養護教諭部会事務局 011-386-0737 大場 裕里子(大麻泉小)
23	理論研修会 「フリースクールの現状とクラウドスクール、学校との連携」 講師：坂本 英之 氏（星槎フリースクール北広島）	生徒指導	11月2日(木)	星槎道道大学	生徒指導部会事務局 011-382-2080 三鍋 健太(江別第三中)
24	理論研修会 「インストラクショナルデザインについて」 講師：小泉 匡弘 氏（北海道教育大学旭川校 准教授）	技術・家庭科教育	11月10日(金)	江別市立中央中学校	技術・家庭部会事務局 0123-40-0051 飛騨 愛(勇舞中)
25	実技理論研修会 「石狩管内公立小中学校事務職員研修会(実技研修、講演会、市町村研究の交流等)」 講師：磯田 大治 氏（特定非営利活動法人おにスポ 理事長）	学校事務	11月24日(金)	第二水産ビル	事務職員部会事務局 011-376-2252 杉浦 麻子(西部中)
26	理論研修会 「英語教育における小中連携」 講師：萬谷 隆一 氏（北海道教育大学札幌校英語教育講座教授）	英語科教育	12月27日(水)	石狩教育研修センター	英語部会事務局 011-375-2843 坂本 育朗(西の里中)
27	実技理論研修会 「授業作りのヒント研修会～理科の授業ですぐに使える教材紹介～」 指導者：成田 一之慎 氏（江別市立江別第一小学校 主幹教諭）	理科教育(小)	2月15日(木)	江別市立江別第一小学校	理科(小)部会事務局 0123-32-3579 小田桐 清昭(柏小)

昨年度の実技理論研修会の一覧です

